



科学の眼

まなこ

発行:姫路科学館 (〒671-2222 姫路市青山 1470-15 電話:079-267-3961)
<http://www.city.himeji.lg.jp/atom/>

生物シリーズ

春の花の代名詞

サクラ (バラ科)

Prunus subg. Cerasus

姫路科学館長 古角 孝之

サクラは、バラ科サクラ属サクラ亜属に分類される落葉広葉樹の総称です。沖縄県から北海道まで日本全土に色々な種類のサクラが自生し、または栽培され、古くから日本人に親しまれている花の一つです。

日本には全部で400種類以上のサクラがありますが、大きくヤマザクラ・オオヤマザクラ・タカネザクラ・カスミザクラ・ミヤマザクラ・マメザクラ・オオシマザクラ・エドヒガン・チョウジザクラなどの野生種、ソメイヨシノ・「普賢象 (ふげんぞう)」・「関山 (かんざん)」などの園芸種の二つに大別することができます。

色々なサクラの中でも最も親しみのある種類としては、ソメイヨシノがあります。ソメイヨシノは本州・四国・九州ではサクラ開花前線の基準木になっています。



ソメイヨシノ (Prunus × yedoensis)

■ サクラ前線のサクラの種類

日本地図上でサクラの開花日が同じ地点を結んだ線を「サクラの開花日の等期日線」と言い、一般にサクラ前線と呼ばれます。このサクラの開花日の観測に使われる木（基準木）の種類と境界、そして生態は次のようになっています。



	カンヒザクラ	ソメイヨシノ	オオヤマザクラ
分布（生育地）	関東より南に生育 沖縄で野生化	ほぼ日本全域	北海道・本州・四国の冷 温帯
系統	エドヒガンとヤマザク ラの雑種	オオシマザクラとエド ヒガンの交雑種	野生種
花の色	濃紅色	白色から淡紅色	淡紅色から紅色
花の大きさ	1. 5 cm～2. 5 cm	3 cm～4 cm	3 cm～4 cm
樹高	2 m～5 m	10 m～15 m	10 m～25 m
寿命	100年未満	約100年	100年～500年

■ サクラの語源

「サクラ」の語源には、次のようないくつかの説があります。

○「木花開耶姫（このはなさくやひめ）」説

「木花開耶姫」が富士山の上空から蒔いた花の種「サクヤ」が転訛して「サクラ」となる。

○「神霊の宿る木」説

田の神様「サ神」が山から降りてきて座った木「御座（みくら）」（神様の座る台座）からできた言葉。

○「日本語の音の意味」説

「さ音（sa）」（より多い）＋「く音（kwu）」（組み合わせる）＋「ら音（rwa）」（群がる）を複合して「さくら」とよぶ。